



神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川イグレンニュース

<第187号>

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集担当：愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 7F

Tel./FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-iguren.com>

2018年6月号

イベントのお知らせ

→ 第45回 海老名サロン

日時	6月29日(金) 午後3時より
場所	神奈川中小企業センター6階大研修室 (JR 関内駅徒歩約3分)
内容	「中小企業のものづくりの課題と展望を考える」 — ものづくり交流・政策研究会の構想について — 神奈川県異業種連携協議会専務理事 芝 忠 氏
参加費	4,000円(予定)(交流会費込み)

→ 第75回 西湘サロン

日時	7月3日(火) 午後6時～8時(開場5時30分)
場所	おだわら市民交流センターUMECO (JR 小田原駅東口より徒歩約2分)
内容	話題提供：「写真、その記憶としての役割！」 佐々木 純 様 写真の中には単に画像の記録だけでなく、その背景に沢山の記憶があります。 東日本大震災で津波に流された写真の修復ボランティアをとおして改めて写真の大切さを知りました。いつも出して見るわけではないけれど失ってしまった悲しみは計り知れないものです。
参加費	1,000円(当日)

※ どちらのイベントも詳細は最終ページをご覧ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

今月のコンテンツ

1. 川異研通信 3月定例会・分化会の報告..... 2 ページ
 2. 第60回「新事業・新技術支援フォーラム」(5月25日開催) 報告..... 4 ページ
 3. 第1回ものづくり交流・政策研究会のお知らせ..... 6 ページ
 4. NPO 法人 C&S 経営支援協会
「経営支援講座」と「起業支援講座」開催の予告! 7 ページ
 5. 編集後記【閑中閑話】 8 ページ
- 巻末 第45回「海老名サロン」のご案内
第75回「西湘サロン」のご案内

→ 川異研通信

3月定例会

3月8日(木) 午後6時より、当所にて、会員13名、オブザーバー2名、和光大学学生12名の参加者を得て、3月定例会を開催した。

今回は、当会のメンバー和光大学経済経営学部 小林猛久氏のゼミナール2名の学生方により、「和光大学産学連携事例報告～農業の6次産業化に関連する地域連携3年間の取り組み～」と題し講演が行われた。



【講演に耳を傾ける参加者】

同ゼミナールは、地域企業や農家と連携し、生産、加工、販売を一貫して行う6次産業化に取り組んでいる。「ビールを超える発泡酒」がキャッチフレーズの「岡上エール」は、学生らが試行錯誤の末たどり着いたブルーベリーとゆずを使ったフルーツビールだ。ラベルデザインも手がけ、農産物直売所セレスアモス麻生店や地域イベントで販売し、その美しい色合い、フルーティな味わいに好

評を得ている。次に、収穫した果実（柿）からドライフルーツを作る事例が紹介された。これは、収穫から加工、販売と6次産業のすべての行程に学生が関わった。製造行程から、原価、材料費、売上、利益など具体的な数字があげられ、またドライフルーツと青果との比較も行われ、参加者の興味



【ビールを超えた発泡酒「岡上エール」】

を引いた。また、地場野菜である「万福寺人参」を種まきから収穫まで行い、地元洋菓子店の協力を得てドーナツを作った事例も紹介された。これらの取り組みは、ラジオや新聞等複数のメディアで取り上げられ活動が広く知らされた。

最後に、この体験により様々な人と関わったこと、多方面からの評価を聞くことで多くのことに気づいたことなどが語られた。失敗に屈せずチャレンジしたことが成長につながったという言葉は取り組まれた3年間の重みがあった。

講演後の懇親会では、岡上エール、夏みかんのドライフルーツの試食もでき、参加者一同格別の思いで味わった。

3月分科会



【分科会講演の様子】

3月1日（木）午後6時30分より、中原市民館にて、会員8名、和光大学学生7名の参加者を得て、3月分科会を開催した。今回は、税理士法人LRパートナーズ 代表社員小川湧三氏を講師に迎え「日本の財政破綻リスクとその対策を考える」と題し講演が行われた。講師の半生が紹介された後、「オペレーションZ」という財務省が舞台の、国家破綻問題を題材にした小説を例にしながら、講義がなされた。懇親会では、資産の防衛について具体的な話があり、参加者一同興味深く聞いた。

→ 第60回「新事業・新技術支援フォーラム」(5月25日開催) 報告

初めに芝専務理事から、「新事業新技術支援フォーラム」を今後どのように進めていくかについて、次のような提起があった。①このフォーラムは、多くの新人の事例発表の機会を提供する。②同時に、イグレン会員企業の事業開発事例紹介を組み合わせることで参加規模を広げ、イグレンフォーラム的要素を持たせて強化をしていく。③中小企業センター7階のインキュベータールームに入居している人に来て説明して貰ったが一回きりで終わってしまった。イグレンの理事には多くの企業がおられるので、毎回一社ずつぐらい事業内容などを説明して貰うようにしたい。

また、かねてから課題になっていた「ものづくり交流・政策研究会」発足の準備について、5月21日に第1回事務局長会議を開催し、①鈴木和夫氏に座長をお願いした、②研究会の進め方について、③自治体や国の政策に反映する提言づくり等について検討したこと、また、第1回の研究会は、行政の人に来て頂いて勉強会を開きたいとも考えているなどの説明があった。

次に、前回初めてフォーラムに出席された富士ホールディングス(株)の荷宮博士様から、再度、会社の説明をして頂きました。(前回のレポートと同様につき割愛)

この説明に対して、あるメンバーからは、「新規事業の開拓に力を入れていくとのご説明ですが、アイデアは自社の経験の範囲の延長のものしか浮かばない事が多く、全く新しい新規事業の開拓には違う業界や業種と積極的に交流し、挑戦する気持ちが大事なのではないか」との発言があった。

また、他のメンバーからは、「自分は今までしてきた仕事と畑違いなことをしているが、新規事業開拓とは異分野の事業開拓のことであり、今までの事業の延長上の事業に取り組むことではない。」との意見が出された。

パワーラインコミュニケーションズ(株)の荒川さんから、「PCL ホームネットワークシステム」製品のその後について「今までの機能に、元気メール設定、防犯設定、安否確認設定などの新たな機能を付け加えたので開発費用がUPした。このため、資金集めに回っている状況です」との報告

に対して、あるメンバーからは、「あえて言わせて頂ければ、機能の盛り過ぎではないかと思う。実際に使われる機能は、その中の一部ではないかと思うので、基本の機能にオプションとしてアタッチメントを後から付けて機能UPするようにしたらどうかと思う。」などの意見がありました。

(株)テクノコンサルタントの石川さんからは、会社は補助金を貰ったので7,000万円もするドローンを購入した。今は、ドローンに赤外線カメラを搭載して構造物の法面等の変状個所の測定や、レーザー測距儀を搭載して低高度計測を行っている。また、高周波衝撃弾性波法(非破壊調査)オーリスによって基礎杭や構造物の形状寸法、微細な内部亀裂、先端位置の測定等を行っているが、東京メトロからは、杭の長さが測れてもその杭が岩盤にとどいてしっかりと働いていないと意味がないと言われたが、杭が正しく施行されて役割を果たしているか、耐久性があるのかが測ることができれば無限の仕事があるという展望についての説明あった。

(株)ユニメーションシステムの伊藤さんから、国内向けには、4月から、国交省がXRRAINを配信したので警報装置に利用している。XRRAINデータは250mメッシュで積乱雲の状態から10分後の雨量を判定出来、雨が降る前に豪雨の状態を検出して警報を出力できる能力があるので。特定地域に対してゲリラ豪雨に関するデータ配信契約を結ぶことによって収入を得る計画を進めている。海外向けには、過去2回、フィリピンのゼブ島を訪問しています。6月にも訪問します。また8月に防災担当者が日本国内の研修に来日するので、その計画に追われているとのこと。新たに当社の警報装置にJVCケンウッドのデジタル防災無線を組み合わせ、警報が出力されたらデジタル無線で防災センターに知らせ、消防や警察等と連携する事ができ、新しい展開の可能性について報告があった。

【お知らせ】

次回(第61回)は7月4日(水)14:00より特別研修室で開催します。
「新事業・新技術支援フォーラム」に出席して、発表・相談等をご希望の方は歓迎しますので事務局までご連絡ください。
ご連絡頂ければ詳しくご案内いたします。

【事務局】松井利夫

E-Mail : toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

→ 第1回ものづくり交流・政策研究会のお知らせ

神奈川県異業種連携協議会

日本の製造業は近年の不正問題で信頼性が大きく揺らいでいます。また販路を海外に求める企業も増えつつありますが、一方依然として、厳しい環境の中でも国内または県内で頑張っている企業の維持に貢献している企業もあります。そうした中で私達は行政の海外進出支援や、企業誘致政策を十分踏まえつつ、あえて国内展開に必要な企業の戦略を研究し、中小製造業の人材の確保や育成の課題解決に資する行政支援策を検討し、新たな政策提言づくりに挑戦したいと思います。

(趣旨)日本の製造業の弱体化が叫ばれている今日、改めてその在り方を議論する必要がある。そして自治体や、国の政策に反映する提言をまとめる。

- (1)国内に生き残る方策と人材確保、海外進出の是非
- (2)航空宇宙産業振興策
- (3)「中小企業振興条例」の活用による製造業振興策
- (4)神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市協同による「技術振興機関」の設置

日時	7月27日(金)午後1時半から4時半(時間の変更あり)
会場	神奈川中小企業センタービル6F 大研修室
議題	①研究会の設立について ②(公開セミナー)神奈川県の企業誘致策と海外進出支援策について 講師 神奈川県産業労働局企業誘致・国際ビジネス支援課 [質疑・討論] ③今後の活動方針について

ものづくりに関わる皆様の参加をお待ちしております。

→ NPO 法人 C&S 経営支援協会

理事長 松井利夫

「経営支援講座」と「起業支援講座」開催の予告！

イグレン加盟の「NPO C&S 経営支援協会」では、毎年、横浜市経済局、日本政策金融公庫、横浜信用金庫の後援並びにイグレンの協賛を得て創業・起業を目指す方を対象に「起業支援講座」を開催しています。今年度は、さらに「経営支援講座」を加えて中小企業・小規模事業者を対象に下記の要領でセミナーを開催することを計画中です。開催日時等が決定しましたら順次お知らせいたします。

記

1. 「経営支援講座」

開催予定講座と開催予定日

- ①リスクに強い会社づくり：8月 3日（金）13：00～17：00（予定）
- ②雇用助成金にチャレンジ：8月24日（金）13：00～17：00（予定）
- ③人手不足時代の働き方：9月28日（金）13：00～17：00（予定）
- ④財務会計：10月中（未定）
- ⑤生産性向上：12月中（未定）
- ⑥補助金活用：来年3月中（未定）

2. 「起業支援講座」

開催予定講座と開催予定日

- ①ベーシック講座（第一日目）：9月15日（土）13：00～17：00（予定）
（第二日目）：9月22日（土）13：00～17：00（予定）
- ②ステップアップ講座（第一日目）：11月中（未定）
（第二日目）：11月中（未定）
（第三日目）：11月中（未定）

→ 編集後記【閑中閑話】

愛 賢司

6月12日の史上初の米朝首脳会談は、核戦争の脅威から抜け出す道をひらいた歴史的な大事件と言えましょう。日本にとって大きな意味を持つ内容は「朝鮮半島の完全な非核化」とともに、北朝鮮が「弾道ミサイル関連の実験場の破壊を約束した」（トランプ大統領の記者会見）ことです。日本政府は「北朝鮮の脅威」がより緩和され、「日本にいつミサイルが向かってくるかわからない状況は明らかになくなった」（菅官房長官記者会見）と米朝会談を積極的に評価しています。しかし、1基1,000億円でも莫大な維持費がかかる陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の配備に固執する姿勢を変えようとはしていません。米国軍需産業の営業マンよろしく振る舞うトランプ大統領の気持ちを「忖度」しているのかと邪推したくなります。

神奈川県異業種連携協議会

交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】	①②③宮川 豊 ④⑤荒 直孝
【火】	①②④⑤児玉 英二 ③愛賢司
【水】	①菊地 ②指方 ③加藤 ④愛 ⑤芝
【木】	①②③④⑤松井 利夫
【金】	①愛賢司 ②指方 順一郎 ③④⑤織方
【土、日、祭日】	休業

神奈川県イグレン事務局

〒231-0015

横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階インキュベートルーム703号

T/F 045-228-7331

URL : <http://www.kanagawa-iguren.com>

Mail : iguren@kanagawa-iguren.com

第45回海老名サロン開催要領

I. 日 時 6月29日(金)午後3時より

II. 会 場 神奈川中小企業センター6階特別研修室

(横浜市中区尾上町5-80)

*根岸線「関内駅」北口改札口右側出て、線路沿い桜木町駅方面徒歩4分

III. 進 行 (時間配分は質疑も含む目安です)

1. 資料確認 (3時~3時15分)

2. 報告と問題提起

(1)「中小企業のものづくりの課題と展望を考える」 (3時15分~)

— ものづくり交流・政策研究会の構想について —

神奈川県異業種連携協議会専務理事 芝 忠 氏

景気の好調が続いている話も聞きますが、個々の中小企業の皆さんの話を伺うと、それぞれに将来に向けての課題を抱えておられます。

今回は、日本の製造業を支えている中小企業の現状と課題を明らかにしながら、元気になる方向について、自由気楽にディスカッションしたいと思います。

気軽に周りのご友人をお誘いください。

3. 交流会 会場は未定です。 参加費4,000円

4. 出欠連絡

準備の都合がありますので、出席される方は、下記の内容をご連絡ください。

サロン (出席 欠席) 交流会 (出席 欠席)	
所属・ご職名	
ご芳名	
ご本人以外の参加者 ご職名・ご芳名	

連絡先 FAX 045-228-7331 又はまたは、aikenji1024@gmail.com

地域の幅広い人材交流を目指した「神奈川新産学公交流サロン」
第75回西湘サロン開催のお知らせ

【日時】：平成30年7月3日（火）午後6時～8時（開場5時30分）

【場所】：おだわら市民交流センター**UMECO** (TEL :0465-24-6611)

【会費】：参加費1,000円（当日）



1. 話題提供：「写真、その記憶としての役割！」

佐々木 純 様

写真の中には単に画像の記録だけでなく、その背景に沢山の記憶があります。
東日本大震災で津波に流された写真の修復ボランティアをとおして改めて写真の大切さを知りました。いつも出して見るわけではないけれど失ってしまった悲しみは計り知れないものです。

2. テーブルディスカッション（ビール、つまみを用意します）

テーブルを囲み、自由に討論・交流を行います。

団体での参加申し込み先：神奈川県異業種連携協議会事務局

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル7階

Tel & Fax 0 4 5 - 2 2 8 - 7 3 3 1

（担当：吉池）

3. 場所



JR 小田原駅東口より徒歩約2分です。

住所：小田原市栄町一丁目 1 番 27 号（駅東口駐車場1階）
(TEL :0465-24-6611)

個人で参加される方は、申し込みの必要がありません。多人数で参加される方は会場の準備の都合もありますので下記参加申込書で参加人数を教えてください。

参加申込書（西湘サロン）Tel & Fax 0 4 5 - 2 2 8 - 7 3 3 1

氏名	(参加人数： 名)	所属・役職	
住所		電話番号	()
		FAX番号	()